

第 34 回静岡オレンジマラソン大会 新型コロナウイルス感染症対策のガイドライン

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また本大会にお申込みいただいた方に安心して大会にご参加いただくために作成しました。

下記の項目をよくお読みいただき、安心・安全な大会運営にご協力いただきますようお願い致します。

1 開催条件

静岡県において、緊急事態宣言及びイベント自粛、外出自粛又はこれに類する要請が発せられていないこと。若しくは、開催前日までに解除になる見込みが明らかであることを条件とします。

2 中止を判断する基準・時期

- (1) 11月12日(金)発表の「静岡県6段階警戒レベル」で「レベル5以上」の場合は、中止とする。
- (2) 11月12日(金)の発表で、静岡市が部分的に「レベル5以上」になった場合は、中止とする。
- (3) 参加者の在住又は事業所の所在地の市町村が部分的に「レベル5以上」になった場合は、その者の参加は認めない。(草薙に来る人のみ)

3 大会前

- (1) 本ガイドラインを読み、内容を承諾した上で大会にエントリーすること。
- (2) 事前送付される健康チェックシートに基づき、大会2週間前から体調管理を行う。
- (3) 少しでも感染の疑いがある場合は、来場しない。
- (4) 大会2週間前から人の密集する場所への移動や外出は控えること。
- (5) 65歳以上の方、基礎疾患を有する方の場合、重症化するリスクが高い旨を認識した上で参加する。
- (6) 各自で手指消毒が頻繁に行えるように、消毒液は、各自で用意する。
- (7) 個人的にフェイスシールド、手袋着用等、感染防止対策をして走りたい選手は各自で用意する。

4 大会当日、自宅(事業所)から会場までの移動について

- (1) 公共交通機関利用の場合
利用する公共交通機関の感染防止対策を遵守し、乗車前、乗車後は、手洗い、手指消毒をする。
- (2) 貸切バス等利用の場合
 - ① 乗降時、手指の消毒をする。
 - ② 乗車後、マスクを常時着用する。
 - ③ 乗客が一定の距離を保てるようあらかじめ誰がどこに座るか計画を立てておく。
 - ④ 乗降時、立ち列ができないように、順番に乗降する。

- ⑤ 外気換気モードによるエアコンの使用を基本とし、可能なかぎり、随時、窓の開放をすることにより車内換気の徹底をする。
- ⑥ 大声での会話は控える。
- ⑦ 車内でのカラオケの利用はしない。
- ⑧ 車内で食事はしない。
- ⑨ ゴミはエチケット袋に入れ、きっちりと縛り捨てる。

5 大会当日

(1) 会場へ出発前

- ① 選手と支援員は、出発前に各自で体温を測定、体調チェックを行う。
- ② 37.5度以上の場合は、参加しない。また、熱が37.5度以下でも体調がすぐれない場合は、参加しない。
- ③ 更衣室の密を避けるため、できるだけ走る服装で出発する。
- ④ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航該当在住者との濃厚接触の予定がある場合は、参加できない。
- ⑤ 会場内では、競技時以外は、可能な限り常時マスク着用する。

(2) 受付

密を避けるため、受付ブースには、代表者1名のみ立ち寄ること。他の方は、速やかに指定された場所で待機する。

(3) 更衣室

- ① 通常の利用定員から半分以下の人数を利用定員とする。また、可能な限りマスクを着用の上、入室する。
- ② 大きな声で話しをしない。更衣室入口に最大定員数を記載しておくので、定員に達した場合は、外で待機する。(待機中も他の方と2m以上間隔を空け、可能な限りマスクを着用する。)
- ③ 更衣室内に滞留せず、更衣終了後速やかに退出する。

(4) 観客席

- ① 観客席は、各グループで密にならないように、お互い配慮しあい使用する。可能な限り、常時マスクを着用する。
- ② 他者と共有するもの(手すり、イスの背もたれ、ドアノブなど)に接触した場合は、速やかに手洗い、手指の消毒をする。
- ③ 大声を出した応援はしない。
- ④ 大声で会話しない。
- ⑤ 帰る際には、自身が触ったところの消毒を行う。

(5) 開会式・閉会式

開催しない。

(6) 会場内の行動について

- ① 競技中以外は、できる限り常時マスクを着用する。
- ② ゴミは、各自持帰る。
- ③ 大きな声を出した会話はしない。

④ 設置してある消毒液や各自持参の消毒液をこまめに利用し、感染防止に努める。

⑤ トイレ等に並ぶ際は、前後の人と間隔を空ける。

(7) 選手招集について

① 3密回避のため、競技役員の指示に従うこと。

② 熱中症などの危険があるため、スタート直前にマスクは外すのが望ましいが、体調管理を十分に行い、マスクを着用して参加してもよい。

③ ツバや痰を地面に吐かない。

④ ゴール直前に支援員等は、ゴール付近で待機し(他者と1 m以上間隔を開ける)選手がゴールしたら滞留せず、速やかに観客席に戻る。息が落ち着き次第、できる限りマスクを着用する。

(8) 競技後

滞留を防ぐため、当日の記録の貼り出しは行わない。後日、HPに掲載します。

(9) 表彰式

行わない

(10) 大会スタッフについて

本大会の運営スタッフは、選手同様、体調管理を徹底する。また、当日は、フェイスシールド、マスク、手袋を着用します。

(11) 体調不良(感染疑い)がある選手・スタッフがいた場合

① 体調不良を感じた場合は、速やかに会場内スタッフにお申し出ください。

② 本大会開催にあたり、新型コロナウイルス感染者が出た場合は、関係機関への情報提供を行うとともに、参加選手・スタッフにご連絡いたします。